



30回目を迎えるコンテンポラリーダンスの祭典「ヨコハマダンスコレクション」

コンペティション受賞振付家決定！

世界的な振付コンクールの日本プラットフォームとして1996年にはじまったコンペティションには、社会と他者に向き合い、身体と表現に向き合う振付家約500組がファイナリストとして参加し、国内外で多彩な活動を繰り広げています。振付家やダンサー等が構成、演出、技術のみならず新たな表現の可能性に挑む場であり、創造性に基づく対話・交流のプラットフォームです。

今回は2024年5月8日から6月25日まで公募を行い、13の国・地域から計153組の応募がありました。映像・書類審査会を経て決定した18組(コンペティションI:8組、コンペティションII:10名)が、11月28日~12月1日の間に上演審査にのぞみ、以下の通り各賞の受賞者を決定いたしました。



Photo: Sugawara Kota

【コンペティション I】

■ 審査員賞

キム・ナイ、チョ・ヒョンド (韓国) 『Nonfiction』

■ 若手振付家のための在日フランス大使館賞・ダンス リフレクションズ by ヴァン クリーフ&アーペル賞 小林 萌 『ens』

■ MASDANZA 賞

チュアン・ポーシアン<D_Antidote Production.> (台湾) 『Remainder』

■ アーキタンツ・アーティスト・サポート賞

ファン・イェンリン、スウエン・メンヤオ (中国) 『Flashbulb Memory』

■ 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 賞
ファン・イェンリン、スウェン・メンヤオ（中国）『Flashbulb Memory』

■ 奨励賞
asamicro 『Wake up』

■ ベストダンサー賞
ファン・イェンリン、スウェン・メンヤオ（中国）『Flashbulb Memory』

【コンペティションII 新人振付家部門】

■ 最優秀新人賞
福永将也 『Contact Shots』

■ アーキタンツ・アーティスト・サポート賞
おかだゆみ 『ワレワレソモソモ論』
福永将也 『Contact Shots』

■ 奨励賞
外山陽大 『僕 ㊦ 2』

■ ベストダンサー賞
高橋 灯 『Reincarnation』

【コンペティションI 審査員】

岡見さえ（舞踊評論家、共立女子大学文学部准教授）

木村絵理子（弘前れんが倉庫美術館 館長）

長塚圭史（劇作家、演出家、俳優、KAAT 神奈川芸術劇場芸術監督）

浜野文雄（新書館「ダンスマガジン」編集委員）

康本雅子（ダンサー、振付家）

サンソン・シルヴァン（在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ 文化担当官）

デルフィーヌ・ヴュアトゥ（フランス国立ダンスセンター（CND）制作・配給ディレクター）

セルジュ・ローラン（ヴァン クリーフ&アーペル ダンス&文化プログラムマネージャー）

※MASDANZA 賞、アーキタンツ・アーティスト・サポート賞、穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 賞の審査員は、各団体の専門家が務めました。

【コンペティションII 審査員】

加藤弓奈（急な坂スタジオ 館長）

スズキ拓朗（CHAiroidPLIN 主宰、ダンサー、振付家、演出家）

浜野文雄（新書館「ダンスマガジン」編集委員）

吉開菜央（映画作家、ダンサー）

※アーキタンツ・アーティスト・サポート賞の審査員は、団体の専門家が務めました。